

NPO法人 関西芸術文化支援の森ゆずりは

ゆずりは

会報誌第14号 平成30年10月15日発行

「ゆずりは」という名前は、新しい葉が伸びて古い葉が落ちることから世代が絶えることなく引き継がれていくという意味をもつ、ユズリハという植物の名からとったものです。私たちの活動は、ユズリハのように、芸術家を目指している若い世代の演奏家の育成を目的としています。また、その活動がこころ豊かな社会作りに貢献することを願っています。



ごあいさつ

NPO法人 関西芸術文化支援の森ゆずりは
代表理事 和泉 喜久男
(関西保育福祉専門学校長)

今年の夏は猛暑だけでなく、8月の台風20号、9月の台風21号と立て続けに本県へ再上陸するなど、自然災害が相次ぎました。被害に遭われました方々には謹んでお見舞い申し上げます。

さて、先日、「想像するちから—チンパンジーが教えてくれた人間の心—」という演題で京都大学霊長類研究所の松沢哲郎氏の講演を聞く機会がありました。松沢氏は、人間とチンパンジーの心を探ることで「人間とは何か」の研究を続けて来られた方ですが、そのお話を聞き非常に興味が湧きましたので、早速、その研究をまとめた「分かちあう心の進化」という本を読みました。その中で「音楽の起源」については、「音に乗せて何かを伝える。音が情報を運ぶ。送り手も、受け手も、想像するちからをはたらかせて、目の前には見えないものを心に思い浮かべる。」また、「芸術とは何か」については、「ひとつは想像する力を伸ばすこと。五感を通して想像するちからを養う。それが芸術の本質であり、そこに芸術が進化する理由がある。より豊かな想像するちからを育むことで、より深く他者の心を理解し、他者とかかわる知性を伸ばす。」また、「芸術の起源」については、「芸術は分かちあうものである。喜びを共有し感動を分かちあう。そこに芸術の起源がある。」とされています。私自身、まさしくそのとおりであると共感しましたので、紹介させて頂きました。

嬉しいニュースです。本法人会員である秋元孝介さん(ピアノ)が、今年の9月15日ミュンヘンで行われました第67回ミュンヘン国際音楽コンクールの三重奏部門(ピアノ、バイオリン、チェロ)で第一位となりました。同部門で日本からの入賞は初めてだそうです。本法人としても嬉しい限りです。

本法人は、地域社会の芸術文化の活性化を図り、心豊かな社会づくりに貢献することを目的とし、将来芸術家を目指す青少年や若手演奏家の活躍の場を支援しています。学校の音楽鑑賞や地域のミニコンサートなどを開催されます折には、是非私ども「ゆずりは」にお声をかけて頂けたら幸いです。今後とも、本法人へのご理解とご支援をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

ホテル北野プラザ六甲荘・クリスマスディナーライブ

2018.12.24(月)

猿渡 瑞季(フルート)

今西 梓(ソプラノ)

内藤 菜穂子(ピアノ)

毎年ご好評いただいているクリスマスディナーライブを、今年も開催します。生演奏を聴きながらゆったりとした心温まるクリスマスイブのひとときをお過ごしください。

ご予約はこちらまで↓

ホテル北野プラザ六甲荘 078-241-2456

<https://www.rokkoso.com/>



齊藤 日菜子 (ホルン)
岩井 美沙 (ピアノ)



渡邊 いちご (ピアノ)



奥 真美 (トロンボーン)
下久 聡二郎 (ピアノ)



三田 智美 (フルート)
中村 春菜 (ヴァイオリン)

2018. 8. 3
第7回ゆずりはコンサート
～東日本大震災被災地支援コンサート～

兵庫県立芸術文化センター
神戸女学院小ホール



サクソカルテット
槌田 ねね・上田 萌恵
梶原 真季・小西 稔大



吉武 誠一 (バリトン)
関口 絢未 (ピアノ)



中川 雲母 (ヴァイオリン)
高岸 杏奈 (ピアノ)



大村 優希恵 (フルート)
野村 茉由 (フルート)
小林 英里香 (ピアノ)



見えた景色

フルート 大村 優希恵

先日行われた第7回ゆずりはコンサートの会場である兵庫県立芸術文化センター小ホールは、県立西宮高校音楽科3年生時の卒業演奏会で初めて演奏した思い出深い場所です。

目前に控えた受験曲を演奏しましたが、今でも苦い思い出が蘇ります。緊張とスポットライトで目の前は真っ白、その更に奥は、闇に包まれたかの様に真っ暗で、お客様の顔など見られたものではありませんでした。むしろ四方八方から威圧されている感覚に陥り、恐怖すら覚えました。不安のいかに大きかったことでしょうか。

不思議に思うのは、その場所は以前から変わらないのに、自分の考え方や見方一つで目に映るその世界が大きく変わることです。まさに私にとってこのホールは、そのことを体験させてくれた場所です。

今回のゆずりはコンサートでは、高校時代に比べると少しは成長できていたのか、目の前のお客様の暖かい空気を感じることが出来ました。

お世話になりました関係者の皆様、お越し頂いたお客様、この度は誠にありがとうございました。

2018. 8.19 丹波市内2箇所で演奏しました！



高齢者福祉施設「丹寿荘」で演奏後、ライフピアいちじま大ホールにて行われた復興イベントのオープニング演奏に参加しました。写真(右)は丹寿荘の職員の方々、関西国際大学の教職員、学生の皆様との記念撮影です。



丹波市での「夏のふれあいミニコンサート」を終えて

関西国際大学人間科学部

学部長・教授 上村 和美

8月19日(日)10時30分～11時15分に、丹波市市島町の丹寿荘にて「夏のふれあいミニコンサート」を開催しました。これは、関西国際大学人間心理学科のサービスラーニングプログラム「音楽の癒しによる災害からの復興」の活動の一環で、学生たちが企画・運営し、ゆずりは様に演奏のご協力をいただきました。「サービスラーニング」とは、社会への貢献活動を通じて学びを深める学修方法です。

当日は定員50名のところ、それを上回るお客様にご来場いただきました。演奏はサクソフォンが木寺里穂さん(ご出身が市島町)、細見元希さん、打楽器が川向志保さんという構成でした。「愛の挨拶」からスタートしたコンサートは、口ずさめる曲ばかりで、5曲目の「赤とんぼ」は全員で合唱しました。実は、7月の準備活動で「聴きたい曲」についてのインタビュー調査を実施しており、その結果、「赤とんぼ」が加わりました。コンサートは好評で「45分では短い、もっと聴きたい」「また開催してほしい」というお声を数多くいただきました。

この度は、皆様のご協力で、音楽の力が再認識できるコンサートが実現しました。これを機会に、今後も素敵なコラボレーションができればと思います。ありがとうございました。

2018. 9. 8 トラストグレイス御影 秋風コンサート



2回目となった今回のコンサートは～サクソ、ギター、二胡で奏でる懐かしの曲～と題して「リンゴの唄」からアンコールの「東京ブギウギ」まで、歌謡曲を中心にお客様がどなたでも口ずさめるような15曲を演奏しました。中でも、二胡は皆さんが最も興味を惹かれた楽器。サクソやギターと合わせるとどんなハーモニーが生まれるのか楽しみでした。トラストグレイス御影のお客様は皆さん人生の達人ばかり。音楽の楽しみ方もそれぞれです。車椅子の男性が客席から口笛でコラボしてくださったのがとても素敵でした。次回は、12月24日、「大人のクリスマスコンサート」をお贈りします。

第5回音楽のひろば★第8回ゆずりはコンサート 開催決定

音楽のひろば：西宮市プレラホール 2018年3月29日(金)★ゆずりはコンサート 2019年7月6日(土)

蝉の抜け殻

兵庫県立西宮高等学校
音楽科長 長谷場 純一

私が今住んでいるマンションのベランダの前には、コンクリートに仕切られた小さな植え込みがあり、なぜかそこで毎年セミが羽化します。

小学1年の時に読んだ「ファーブル昆虫記」に感銘を受けてから、小学生の頃は動植物をいろいろと育てたり採集したりしていました。カブトムシ・クワガタムシ・カマキリ・カナブン等を飼い、蝶の標

本作りに勤しむ、そんな大の昆虫好きが毎夏心待ちにしていたのが、田舎の祖父母宅に帰省した折りのセミ捕りでした。セミの抜け殻もとても好きで、いつも袋一杯お土産に持ち帰ったものでした。

このマンションで初めて迎えた初夏のある朝、目の前の植え込みに鈴なりの抜け殻を見つけたときは、とてもびっくりしました。小学生の懐かしい思い出を一気に呼び覚ますこのセミの羽化は、毎年夏の朝の楽しみとなりました。

昔集めたセミの抜け殻は、ほとんどがアブラゼミのものでした。なぜが一面泥を被っているニイニイゼミの抜け殻、ほっそりしたツクツクボウシの抜け殻は数が少なく、ちょっとした宝物でした。特にクマゼミは貴重で、成虫は非常に高いところにいるのでめったに捕まえられませんでしたし、サイズがとりわけ大きくて格好良い抜け殻も、なかなか見つけれませんでした。ところが、目の前の抜け殻は全て高温を好むクマゼミのものでした。懐かしさの中にも温暖化の影響を感じて、かすかに不安の影が差すのも確かです。

羽化する幼虫は非常にしっかり木の幹や支柱につかまっているため、抜け殻はかなり長期にわたって落ちずにいます。年越しをする強者もざらで、春前の大剪定の折りにようやく見かけなくなる、といった具合です。凍るような冬の朝、カーテンを開けたときに霜を背負った季節はずれのセミの抜け殻と対面し、「お、今日もまだ頑張っているな」などと思うのも、なかなか楽しいものです。

しかし、さすがの幼虫の爪も台風21号の直撃には耐えられなかったようで、今年は豊作でたわわにぶら下がっていたセミたちも、一つ残らず吹き飛ばしてしまいました。

冬の小さな楽しみは、来年までお預けのようです。

会員演奏家出演のコンサートをPRします

会員演奏家の皆様、出演されるコンサートのチラシ等、情報を事務局までお送りください。ホームページ等でPRいたします。当法人のイベントにてチラシ配布等のご協力もいたします。後援についてもご相談ください。詳細はゆずりは事務局まで！！

会報誌「ゆずりは」へご寄稿ください

会報誌にご寄稿ください！ 日々のちょっとしたエピソード、音楽に対する思いなど、会員の皆様の文章を募集しております。

ホームページをご覧ください

当法人のホームページには、今後のイベント情報の他、過去のイベントの写真やチラシ、演奏家の情報、会報誌のバックナンバー等を掲載しています。また、出演者の募集も随時ホームページ上で行っています。頻繁に更新していますので、スマホ、パソコンなどの「お気に入り」にご登録いただき、ご覧ください。ご要望、企画アイデアなども募集しています。まずは、「関西芸術 ゆずりは」で検索を！

発行・お問い合わせ先：NPO法人関西芸術文化支援の森ゆずりは

Tel. 080-3760-4023(代表) 070-5652-8878(事務局)

Mail: yuzuriha.office@gmail.com ホームページ: <http://yuzuriha-art.or.jp/>